

第4回（塩尻）セミナー報告

ASEV JAPAN 第4回（塩尻）セミナーが、平成4年7月14日（火）に長野県塩尻市の（株）アルプスにおいて中信葡萄加工事業協同組合（組合長 林幹雄氏）との共催により開催されました。関係各位のご協力により当日は広く全国からご参集いただきました参加者が、100名以上にもおよびました。

セミナーに先立ち、（株）アルプスの御好意により午後1時30分から約1時間工場内を見学させていただいた。

セミナーは、藤森基弘氏（中信農業試験場長）が「長野県の農業技術開発――21世紀へのプラン」、戸塚昭氏（国税庁醸造試験所第3研究室長）が「ワインの個性と醸造技術の在り方」、平田尚美氏（千葉大学園芸学部教授）が「ブドウづくりの新しい技術（子房培養法）に関する新技術」の演題で講演された。1998年の冬季五輪が長野県で開催されるとあって、世界に向けたワインを目指して熱のこもった講演が続き、会場も準備された座席だけでは間に合わず立ち見の聴講者が出る盛況で、一部の方にはたいへん御迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げますと共に、御講演いただきました各先生方には、この誌面をお借りして改めてお礼申し上げます。

引き続き開催された懇親会では、塩尻市長の三澤光広氏、及び松本税務副所長の片桐丈次氏の御挨拶に続き、信州塩尻産のワインを用いて林幹雄氏による乾杯の後、ワインの現状と将来について活発な意見交換がなされ、大いに語り合い、親睦の輪を一層広め、深めつつ、盛会裏に幕を閉じることが出来た。

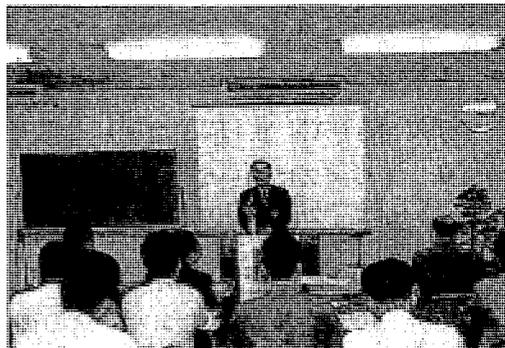
今回は、長野県塩尻市における初めてのセミナーということで、（株）アルプスの御好意により、社内に実行委員会を設けて準備をしていただきました。おかげで予想以上の盛会になったと思っています。このセミナー開催に御尽力いただきました各方面の皆様に改めてお礼申し上げます。

なお、ASEV JAPAN では今後もセミナーを各地域で積極的に開催する予定です。御意見御要望などがありましたら、ぜひ事務局までお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

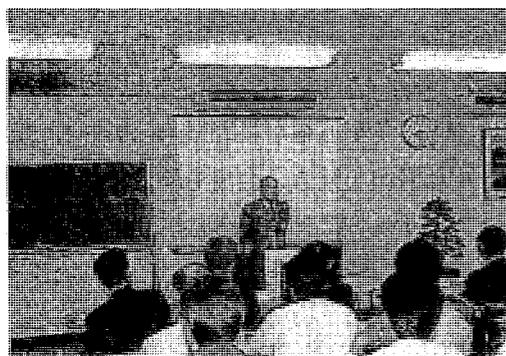
（加賀美、滝沢）



講演会場



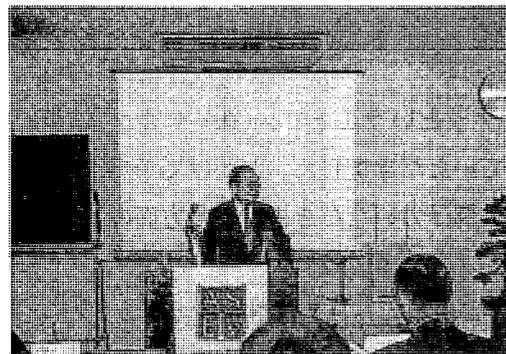
藤森基弘 中信農業試験場長の講演



林 幹雄 中信葡萄加工事業共同組合長の挨拶



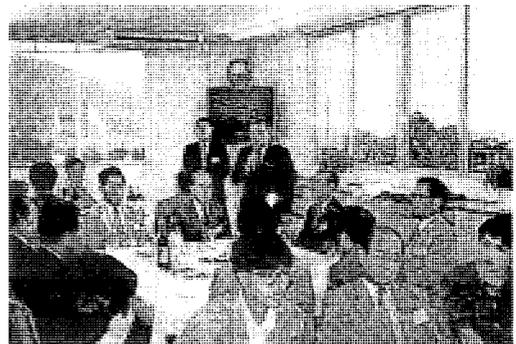
平田尚美 理事の講演



戸塚 昭 理事の講演



懇親会にて 嶋谷幸雄 会長 挨拶



懇親会にて 三沢光広 塩尻市長 挨拶



懇親会会場

信濃毎日新聞



ワインの個性づくりを

塩尻市で学会、100人参加

アドウとワインの産地、塩尻市で十四日、アドウ・ワイン学アメリカ学会日本会場のワインセミナーが開かれた。写真。

部会の塩尻セミナーが開かれた。写真。

会場のワインセミナー、アドウ産地、ワイン醸造、大学、試験場関係者ら百人余が参加。理事長の矢ヶ崎啓一郎同社社長が「長野冬季五輪に向け、良いワインをどんどん作り、世界の人人々に楽しんでほしい」とあいさつした。

県中信濃産地試験場の藤森基弘場長ら三人が講演。藤森氏は、欧州系アドウ特有の生理障害（渋みだせ）の防止方法など、試験場の研究状況を紹介。果樹や野菜が農産業の中核となる来世紀に向け、防除技術を中心に力を入れる必要性を訴えた。

国税庁醸造試験所の戸塚昭三研究室長は、ワインの個性づくりの大切さを強調。「冬季五輪で地元ワインがまずかった場合、日本のワイン全体の評価が落ちる」となる」と、地元ワインナーに一層の奮起を促した。

市民タイムス

ワイン醸造技術向上を

県下初ASEVのセミナー

県下初のASEV・J 県下での開催は昨年のAPAN(アドウ・ワイン)同学会総会で決定して、アドウ・ワイン学アメリカ学会日本部、アドウ・ワイン学アメリカ学会中部支部の共同主催で、十四日、塩尻市塩尻町のて塩尻市での開催が実現した。

ASEVは甲府市に事務局を置き、日本のアドウ栽培、ワイン醸造の技術向上を目的に、セミナーを開いている。

塩尻セミナーには、大勢の参加者が歓迎の言葉を述べた。このセミナーでの成果を生かし、一九九八年の長野五輪に向けて、世界のワイン生産技術の向上を奮闘していただけるよう、大いに力を尽くしたい」と決意を表明した。

このあと、藤森基弘・県中信濃産地試験場長、戸塚昭三・国税庁醸造試験所第三研究室室長、平田尚

美・千葉大学園芸学部教授の三氏がアドウ栽培に関する実例、品種改良の実際、個性あるワイン醸造技術などについて講演した。

セミナーに先立ち、参加者はアドウ工場内を見学。終了後は懇親会でお互いの意見と経験を語り合った。

あいさつする矢ヶ崎啓一郎アドウ・ワイン学アメリカ学会日本部社長

